

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2026 年 No.1

シンガポール通信

～シンガポールにて SWITCH2025 が開催～

アセアntpicks（ベトナム）

～ホーチミン市都市鉄道の利用実態と開通後の生活環境の変化～

アセアン駐在員コラム

～ETS（Electric Train Service）が開通（マレーシア）～

～電動トゥクトゥク配車アプリ「MuvMi」（タイ）～

～「瞑想リトリート」（ベトナム）～

ニュース一覧

めぶき FG の海外ネットワーク



常陽銀行



足利銀行



シンガポール通信

～ シンガポールにて SWITCH2025 が開催 ～

- シンガポールでは、毎年 10 月に ASEAN 最大級のスタートアップイベント「SWITCH」が開催されています。
- 今回のレポートでは、2025 年 10 月に開催された「SWITCH2025」の様子と、同国におけるスタートアップ・エコシステムの現状についてご紹介いたします。

SWITCH2025 の様子



JAPAN ブース



SWITCH (Singapore Week of Innovation & Technology) の概要

東南アジア最大級のイノベーション・テクノロジーイベントである「SWITCH 2025」は、2025 年 10 月 29 日から 31 日にかけて、マリーナベイサンズに隣接する「Expo & Convention Centre」にて開催されました。

シンガポール企業庁 (Enterprise Singapore、以下「ESG」) が主催する本イベントは、今回で 10 回目を迎え、100 カ国以上から 2 万 5000 人を超える参加者と 400 社を超える出展者を集め、過去最大規模のイベントとなりました。開催当初は国内スタートアップの展示が中心でしたが、現在ではディープテック分野を軸に、世界各国のスタートアップ、投資家、事業会社、研究機関が集う国際的なイベントへと発展しています。

また、本イベントに合わせて、

世界的なピッチコンテスト「SLINGSHOT」も開催されており、2023 年には、つくば市のスタートアップ企業が、日本企業として初めて本大会で優勝を果たしました。

SWITCH2025 の様子

イベント当日は、アジア各国 (日本、中国、韓国等) や欧州 (英国、スペイン等) から、AI やロボティクス分野など多様なブースが出展されました。会場にはスタートアップ、投資家、大学関係者が集い、活発なネットワーキングを通じて、国境を越えたオープンイノベーションが加速している様子が随所で見受けられました。

特に印象的だったのは、自動走行ロボットなどの実機展示を通じて、各社が自社技術を前面に打ち出していた点です。会場全体から、技術の実用化や事業化を強く意識した熱意が伝わってきました。また、出

展企業の多くが、単なる技術紹介に留まらず「どの社会課題を、どの市場で解決するのか」という提供価値を明確に描いていた点も特徴的でした。

また、今回の「SLINGSHOT 2025」には、世界 150 カ国以上から過去最多となる約 7,000 社が応募し、選抜された上位 60 社がシンガポールに集結しました。最優秀賞には、通信を物理的に制御する独自技術を持つ、英国・オランダ発のサイバーセキュリティ企業「Goldilock Secure」が選ばれました。

日本企業の出展状況

会場では、日本貿易振興機構 (JETRO) や自治体と連携した日本企業の出展も目立ちました。

「セントラル・ジャパン・スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム (中部経済連合会、名古屋大学等)」をはじめ、JETRO福岡、

茨城県スタートアップによるピッチの様子



東京都、仙台市、横浜市、琉球大学など、多くの支援機関や地方自治体等がブースを構えていました。

またジェトロ茨城では、「シンガポール・グローバル展開支援プログラム」を通じて、茨城県内企業を含む 5 社を対象に視察やマッチング、ピッチイベント（上記写真）を実施しました。参加者からは、シンガポールをはじめとする海外展開に向けた「具体的なビジネスのきっかけ作り」や「現地ネットワークの構築」に繋がったという、好意的な意見が多く聞かれました。

このように、本イベントはシンガポールをハブとして、スタートアップ、投資家、多国籍企業が結びつき、事業創出や海外展開を具体化させる「実践の場」となっています。

シンガポールのスタートアップ支援・エコシステムの現状

シンガポールは、世界知的所有権機構（WIPO）が公表する「グローバル・イノベーション・インデックス（GII）2025」において世界 5 位にランクインしています。研究開発支出やベンチャーキャピタル取引、ハイテク輸出、知的財産権出願など約 80 項目を基に評価されており、同国は 16 年連続でトップ 10 入りを果たすなど、世界有数のイ

ノベーション拠点としての地位を確立しています。

シンガポール政府は、ASEAN 市場へのゲートウェイとして魅力的なエコシステムを形成するため、主に以下の取組を推進しています。

（1）政府による投資支援の拡充

ESG とシンガポール経済開発庁（EDB）は、ディープテック分野のスタートアップ支援をさらに強化するため、「スタートアップ SG エクイティ」スキームに 4 億 4,000 万 SGD（約 510 億円）の追加資金を投入しました。

この制度では政府が民間投資家と連携し、将来性の高いディープテック系スタートアップへの投資を促進するとともに、1 社あたりの共同投資上限を従来の 800 万 SGD から 1,200 万 SGD に引き上げています。これにより、研究開発の初期段階から商業化・スケールアップまで一貫した支援を受けやすくなっています。また、2025 年にはスタートアップ支援を一元化するワンストップ・プラットフォーム「Stage One」が立ち上げられ、スタートアップの市場参入支援や海外展開支援の強化が図られています。

（2）多層的なスタートアップ支援

ESG や EDB が、補助金、R&D

助成、人材育成などの幅広い施策を展開しています（図 1 参照）。特にディープテック分野では、政府が大学・研究機関との協業を強力にバックアップしています。

これらの施策に加え、政府系 VC、CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）や多国籍企業の R&D 拠点の集積が進んだことで、スタートアップとの協業やオープンイノベーションが日常的に行われる環境が整っています。

おわりに

シンガポールは今後も、政府主導の投資と産官学の緊密な連携により、ディープテックを中心としたイノベーション拠点としての地位をさらに強化していくと予想されます。これにより、新技術の社会実装や国際的な事業創出が加速し、ASEAN 市場の玄関口としての重要性は一層高まっていくと考えられます。

めぶきフィナンシャルグループでは、今後も海外専門機関と連携し、お客さまのニーズに応じた海外スタートアップ企業とのマッチング機会の提供に努めてまいります。

常陽銀行シンガポール駐在員事務所
滝 謙太

図 1. シンガポールのスタートアップ支援（一例）

プログラム	概要
Startup SF Founder	起業家を対象に、5万ドルの助成や起業のメンタリングを提供。ピッチ訓練、投資家や大手企業とのネットワークなどを提供。
EnterPass	外国籍の起業家や投資家などに最長1年の滞在ビザを付与。
Global Ready Talent	国内大学に対して、学生が国内外でインターンシップに参加する制度への助成を提供。
Startup SG Infrastructure	大学や研究機関、アクセラレーター、インキュベーター等との連携の下、国内3カ所でイノベーションを促進するための施設を整備。

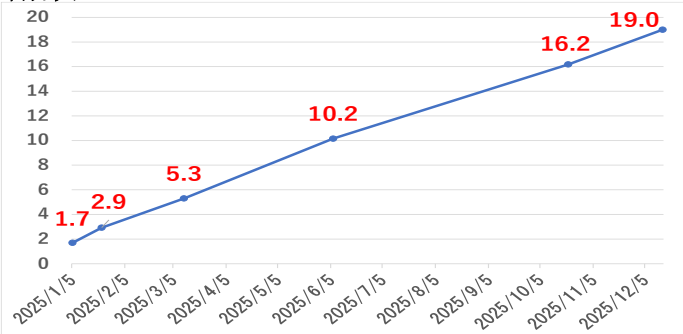
（出所）JETRO のホームページを基に筆者作成

アセアntpicks（ベトナム）

～ホーチミン市都市鉄道の利用実態と開通後の生活環境の変化～

ホーチミン市都市鉄道（メトロ）の1号線は2024年12月に開通し、ハノイ市に次ぐ国内で2番目の都市鉄道として運行を開始しました。本稿では、開通から約1年が経過した現在のメトロの利用実態や生活環境の変化についてお伝えいたします。

百万人 メトロ累計利用者数(現地報道より筆者作成)



メトロの乗車風景



駅構内の様子



乗車券価格

乗車券種別	価格 (1ドン=0.0059円)
片道券 (1駅)	約41円
片道券 (始発～終点)	約118円
1日券	約236円
3日券	約531円
1ヵ月券 (学生)	約885円
1ヵ月券 (一般)	約1,770円
<参考> 始発駅～終点駅までのタクシー費用 (GRAB)	約1,150円

路線案内図



メトロ概要

ホーチミン市のメトロは、日本の政府開発援助（ODA）による支援を受けて整備が進められました。プロジェクト開始から約17年の歳月を経て、2024年12月に開通を迎えた路線です。1号線は、市中心部のベンタイン駅からスイティエン公園までを結ぶ総延長19.7km、14駅で構成されています。

乗車券は区間ごとの片道券に加え、1日券などの選択肢が用意されており、料金は日本と比較して割安な水準となっています。

メトロ開通後の生活の変化

開通後の1ヵ月間は無料で乗車できたことから、最初の2週間で約170万人が利用するなど、当初想定約3倍の乗客が利用しました。その後、開通から1年経過後

の累計乗車数は約2,000万人となっており、1日約5万人が利用しています。

また、学生や社会人がメトロで通学・通勤するなど、徐々に移動手段としての活用が浸透しています。筆者もメトロに乗りましたが、車内は清潔で、運行も比較的時刻通りに行なわれており、快適な移動手段であると実感しました。

経済・都市構造への影響

経済への影響として最も顕著なのは不動産市場です。現地報道によると、沿線マンション価格はメトロ開業を機に販売開始時比で1.5～3.0倍に上昇しています。駅近で築浅など利便性の高い物件に関しては、中古物件であっても2.5～3.5倍に値上がりしている物件も存在します。

一方で、メトロ開通後には渋滞緩和が期待されていましたが、現時点では1路線のみの運行であることから、都市全体の渋滞緩和には至っていないのが現状です。

まとめ

メトロ1号線は、短期的に都市全体の交通環境を大きく変える段階には至っていないものの、生活環境や不動産市場に一定の変化をもたらしています。今後は追加路線の整備や、バイクで駅に移動し、メトロに乗り換える移動方式「パークアンドライド」が浸透することで、居住地選択や交通様式が、これまで以上に大きく変化していくことが期待されます。

常陽銀行 ホーチミントレーニー
大井 航平

アセアン駐在員コラム



～ETS (Electric Train Service) が開通 (マレーシア)～

12月中旬、隣国マレーシアで新しいETS（都市間高速電車サービス）が運行を開始しました。首都クアラルンプールから最南端のジョホールバルまでを約4時間半で結びます。特急は1日4往復の運行であり、ビジネスクラスも用意されています。特急料金は94リンギット（約3,700円。時間帯により変動あり）となっております。

ジョホールバルはシンガポールの対岸に位置しているため、シンガポール在住者にとっても利用価値が高く、注目を浴びています。

従来は飛行機で約1時間、車やバスで渋滞次第では6～7時間かかる移動が一般的でしたが、今回ETSという新たな選択肢が加わり、移動手段として大幅な利便性向上が見込まれています。

近い将来、私も乗車してみたいと思っています。



常陽銀行シンガポール駐在員事務所
現地スタッフ 関 順



～電動トゥクトゥク配車アプリ「MuvMi」(タイ)～

「MuvMi」は、都市部の移動手段が限られる場所で便利に利用できる電動トゥクトゥク（電気三輪車）の配車アプリです。車両は安全性と快適性を高めた設計で、一般的な2～3人乗りに対し、最大6人まで乗車可能で、家族や友人同士での移動にも適しています。

料金はアプリ上で事前に表示され、運転手との交渉は不要です。アプリの利用方法は、乗車地点・降車地点・乗客数を入力して候補車両を選び、車両到着時に二次元コードをスキャンしてアプリ上で支払いを行えば完了ととても簡単です。

ただし、運行エリアは特定の乗降ポイントに限定されるため、観光地周辺や短距離移動での利用に適しています。

タイ滞在中にトゥクトゥクを体験したい人にとって、気軽に楽しく移動できるサービスとして観光や短距離の移動にぴったりです。



足利銀行バンコク駐在員事務所
現地スタッフ
ウダーカーン・ブンヤーポン



～「瞑想リトリート」(ベトナム)～

皆さんは、もし1日携帯電話に触らなかったら、どう感じるでしょうか。近年、ベトナムでは会社員を中心に、携帯電話から離れ、心と体を整えるために「瞑想」や「ヨガ」に参加する人が増えています。

筆者も先日、日曜に開催される無料の1日瞑想コースに参加しました。会場はハノイ近郊のバクニン省にある寺院で、参加者の年齢層は20代後半から50代までと幅広い印象でした。

当日は有名な禅師の指導のもと、周囲の人と助け合うことの大切さについての講演や、座禅や歩行瞑想などを体験しました。

1日を終える頃には心がすっきりとし、日々のストレスをリセットできたと感じました。近年、こうしたリトリートを求める人は増えており、今後さらに多様なサービスが広がっていくことを期待しています。



常陽銀行 ハノイ駐在員事務所
現地スタッフ
グエン・ティ・トゥイ

アセアン各国ニュース

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



- (12/23) 25 年 11 月の消費者物価指数が 101.6 となり、前年同月から 1.2% 上昇
(1/16) 2025 年通年の輸出額（NODX、石油と再輸出を除く）前年比 4.8% 増

マレーシア



- (1/5) 25 年 11 月の生産者物価指数は 115.6 となり、9 カ月連続マイナス
(1/6) 26 年成長率は 4.3% の見通し

タイ



- (1/8) 2025 年 12 月の消費者物価指数 100.19 となり、9 カ月連続マイナス。
(1/9) パーツの対米ドル為替レートが 2025 年通年で 7.8% 上昇

インドネシア



- (1/12) 25 年の財政赤字、対 GDP 比 2.92
(1/13) 25 年 11 月の小売売上高指数は 222.9 となり、7 カ月連続プラス

フィリピン



- (1/7) 消費者物価、12 月は 1.8% 上昇に加速
(1/9) 25 年 7 ～ 9 月の国内交易額は 5,611 億 4,194 万ペソ（約 1 兆 4,860 億円）

ベトナム



- (1/7) 25 年消費者物価 3.3% 上昇、国家目標を達成
(1/12) 25 年第 4 四半期（10 ～ 12 月）の実質 GDP の伸び率が前年同期比 8.46%

〈その他NEWS〉

シンガポール



- (1/5) 2026 年 4 月から 30 年までの間に研究開発（R & D）に総額 370 億 S ドルの投資を発表
(1/9) 11 月の新規車両登録台数、22% 増の 5274 台

マレーシア



- (1/12) 25 年関税収入 762 億リンギ、過去最高を記録
(1/12) 11 月失業率は 2.9%、11 年ぶり低水準

タイ



- (1/13) 25 年の新規二輪登録、1.6% 増の 174 万台
(1/13) 25 年の EV 乗用車登録、74% 増の 12 万台

インドネシア



- (1/12) 25 年新車販売、3 年連続減少 80 万台強
(1/12) 25 年二輪販売、前年比 1.3% 増の 641 万台

フィリピン



- (1/5) 11 月輸出、21% 増の 69 億米ドル
(1/13) 年始早々ペソの史上最安値を更新

ベトナム



- (1/7) 25 年の外国人旅行者数、前年比 20.4% 増となり通年で 2100 万人突破
(1/13) 25 年二輪生産 342 万台、10% 増で過去最高

（出所 NNA・亜州ビジネス）

めぶきフィナンシャルグループの海外ネットワーク

めぶきフィナンシャルグループでは、お客さまの海外ビジネスをサポートさせていただきます。常陽銀行、足利銀行の海外ネットワークをぜひご活用ください。

常陽銀行
上海駐在員事務所

所在地
上海市延安西路2201号
上海国際貿易中心1901室
電話
+86-21-6209-0258



常陽銀行
シンガポール駐在員事務所

所在地
10 Collyer Quay, #09-07A, Ocean Financial
Centre,
Singapore, 049315
電話
+65-6225-6543



常陽銀行
ニューヨーク駐在員事務所

所在地
1270 Avenue of the Americas, Suite #555,
New York,
NY 10020 U.S.A.
電話
+1-917-388-2400



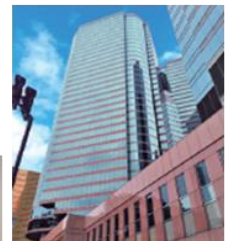
常陽銀行
ハノイ駐在員事務所

所在地
5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh
Street, Hanoi,
Vietnam
電話
+84-24-3218-1668



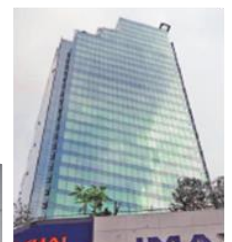
足利銀行
香港駐在員事務所

所在地
Suite 1601, 16th Floor, Tower2, The Gateway,
Harbour City, Kowloon, Hong Kong
電話
+852-2251-9475



足利銀行
バンコク駐在員事務所

所在地
689, Bhira Tower at EmQuartier, 27th Floor,
Room No. 2714, Sukhumvit Road, Klongton-
nue, Wattana, Bangkok 10110
電話
+66-2-261-2852



Disclaimer

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部

足利銀行市場国際部